

牧師所感：能登半島地震とキリスト教会

今から 13 年前の 2011 年 3 月 11 日、私共は、日本の東北地方を襲った 大地震と津波による大災害を経験した。あまりに大きな災害であった由に、その恐ろしい記憶が 未だに生々しく残っている矢先、またも 大地震を経験するとは…。いつかは、大地震が襲ってくると 予測はしていたものの、いざ 能登半島地震の到来にあって 狼狽しない人はいない。それどころか、今度の犠牲者が 232 人にもなり、御遺族の悲しみは如何ばかりであろうか。心から哀悼する。なおも行方不明の方もおられるとの消息、一日も早く 身元が判明されるように祈る。

さて 3. 11 の地震による災難の時、志願して 無牧の石巻教会に赴任した チョウ・ヨンサン牧師は、石巻教会で 苦難の人々に熱心に仕えた。

今回の地震で キリスト教会は、懸命に救助活動をしている。能登地域の教会及び、全国のキリスト教会が こぞって救援に参加している。当の能登地域の教会だけでなく、他県の宮城県の石巻地区で、チョウ・ヨンサン牧師は 被災に遭われた住民の 手となり足となって 働き、またも 積極的に 救援運動を展開している。

私共 千葉県の八街市の「八街グレイス教会」は、3. 11 の地震と津波の時は、積極的に被災地の教会を訪問し、救援金と救援物資を提供してきた。

今度は、能登半島の諸教会の救援の為に、チョウ・ヨンサン牧師は、被災に遭った教会を尋ね、救援金と物資を届けている。私共の八街グレイス教会も 救援金と物資を チョウ牧師に託して 送り届けている。ところが 3. 11 東北地方の地震・津波の時は、筆者の年齢がまだ若く、気も衰えていなかった。ところが今は、満 90 歳を生きる者として、体力的には無理がある。

然らば 私共クリスチャンは、災難に遭った人々に対して、心から慰めの祈りを神にお捧げする次第である。神よ、能登半島の人々を 祝し給え！